



広報紙52号 2023年10月1日  
「TAMA市民塾」発行  
〒183-0056 府中市寿町1-5-1  
府中駅北第2庁舎6階  
多摩交流センター内  
TEL/FAX 042-335-0111

## 国際比較から見た日本の成人学習

TAMA 市民塾・塾長 宮本 謙介

1990年に「生涯学習振興法」が成立して30年が経過しました。「生涯学習」はいまや広く日本社会でも受け入れられているようにみえますが、日本人（成人）の知識・能力は国際的に見てどのように評価されているのでしょうか。少し調べてみました。

手がかりはOECD（経済協力開発機構、先進国のほとんどが加盟する国際協力組織）が実施した「国際成人力調査（PIAAC調査）」（2011年～12年実施、13年結果公表）です。同調査は、24カ国（OECD加盟国＋ロシア・キプロス）の16歳から65歳の成人約15万7000人を対象として、「読解力」、「数的思考力」、「ITを活用した問題解決能力」の3分野のスキル習熟度について、初めて実施された国際調査です。

同調査の結果、「読解力」（文章を理解、評価、利用して社会参加する能力）と「数的思考力」（数学的情報や概念を利用、解釈し、伝達する能力）ではいずれも日本はトップクラスですが、「ITを活用した問題解決能力」では平均レベルでした。概して日本人（成人）の知識・思考能力は他の先進国と比較しても高い水準ですが、先端技術の習熟度はそれほどでもないという評価です（データは文部科学省HP参照）。

一方、生涯学習との関連で注目したいのは、30歳以上の成人を対象とする「学位や卒業資格の取得のための学習」についてのデータで、日本は1.6%と比較可能な18カ国の中で最も低く、学校で学ぶ成人の割合が少ないという結果がでています。最高はフィンランドの8.3%で、日本のおよそ4倍になります。この調査項目の上位国は、教育有給休暇や学費の無償化など、成人が「学び直し」できる制度が整っている国々です（北欧など。『ニューズウィーク日本版』ウェブサイト2015年）。日本では、有職者の場合、長時間労働によって職場外での学習機会が制約されていること、大学・専門学校等での社会人教育には高額授業料が必要であることなど、時間的・経済的制約が大きいのではないのでしょうか。

また、OECDの教育・スキル局長であるシュライヒャー氏は、2018年7月に来日した際、日本の教育の問題点のひとつとして、「日本の成人の学習意欲が、PIAAC調査参加国中で最下位に近い」と指摘しています。

OECDの調査からは、日本のリカレント教育（主に仕事に活かす知識・技術の社会人就学）が問題視されています。我々の生涯学習は、リカレント学習だけではなく、趣味や生きがいなども含めた広範囲の学習形態と言えますが、公的なリカレントを補完し、「成人の学習意欲」を向上させる役割の一端を担っていると考えられます。こうした視点から見ても、在野のボランティアで運営するTAMA市民塾の存在意義が認められるでしょう。

## 講座 No.6：名作小説“目ウロコ” 読解講座

講師：片岡 力

若い頃わからなかった小説が歳を重ねてわかるようになったり、逆に若い頃はわかっていたつもりでいた小説が大人になってむしろわからなくなる。そこが小説を読む独自の面白さです。本講座でも、よく知っているはずの小説がまったく違った顔を見せる、そんな目からウロコが落ちるような読解を試みます。その際の切り口は、例えばこんなふうです。

- ・谷崎潤一郎の代表作『細雪』のラストは、大阪船場の美人四姉妹のうちでも人形のように美しい三女の雪子（市川崑監督の映画版では吉永小百合が演じた）が、上京する列車の中で下痢をもよおしてトイレに駆け込むシーンで終わる。なぜそんな終わり方なのか？
- ・教科書の名作定番である太宰治『走れメロス』で、主人公メロスが最後にゴールしてきた時に全裸なのはどうか？

おそらくほとんどの方がこれまで考えてみたこともないこうした問いを立て、それに対する文学的な解答をさぐることを通して、よく知っているはずの小説が初めて読む小説のように見えてくる、そんな読書体験を皆さんと共有できればと思います。

## 講座 No.8：自彊術 -運動機能や自然治癒力を向上させる-

講師：池畑 珠江

「自彊術」何これ？なんて読むの？から始まる「じきょうじゅつ」です。

そして何をやるの？「体操」です。と答えます。

この出会いからしばらくして体験会のチラシがきっかけで「体操」を体験しました。私は介護予防運動指導員として現在も勤務していますが、この体操の体験をした後に感じたことは、「介護予防に必要な運動がすべて盛り込まれている。」と思い、自彊術を普及していきたいと指導員を目指し、そして教室を開講して早6年が経ちました。

年齢に関係なく、肉体的にも精神的にもストレスを抱えている方は自彊術に一縷の望みをかけてみてはいかがでしょうか。

さて、日本最初の健康体操、万病克服の体育療法のプログラムをご紹介します。

自彊術：第1動から第31動の動作。独自の呼吸法で自律神経を刺激する。

自彊術プラスアルファ：顔こすり、足もみはつぼを刺激する。

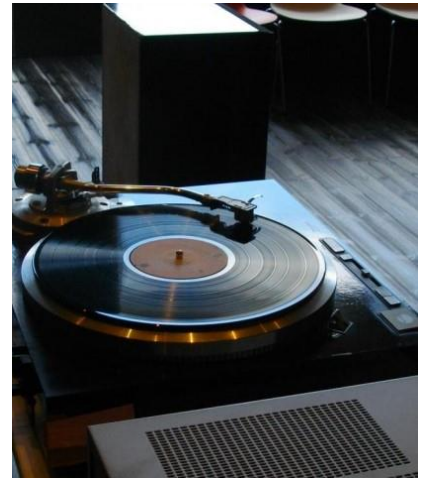
「からだ軽やかに」「こころ穏やかに」なりましょう！

そして、楽しんで生きていきましょう！

## 講座 No.9 : レコードで楽しむ音楽の旅

講師：本田 純

以前、別の生涯学習センターで日本の音楽の連続講座をやりました。今回は、もっと対象を広げて、世界の音楽の連続講座をやりたいと考えました。映画音楽もあります、ジャズもあります、歌謡曲もあります、童謡もあります、クラシックもあります。そういう壮大な音楽の旅を試みようと考えました。私の子供の頃は、レコードでもジャズとロックが結びついて、新しい音楽が生まれていました。そういう時代の変化が音楽を聴くことで体験でき、とてもワクワクしたのを覚えています。



また、レコードジャケットから感じられる、時代の流行、社会の雰囲気、人々の熱気のようなものも、思い出すことができます。自分と一枚のレコードは強く結びついているので、捨てることなんてできません。そのため、部屋はレコードで一杯で、その部屋にいと幸せを感じます。その沢山のレコードの中から、今回、どの音楽を聞いていただくか考えるのも楽しい時間です。音楽を聞くことが好きな皆様と一緒に、色々な音楽を楽しめると考えると、とてもワクワクします。

(\*) 竹村講師の「講座 No.13:はじめてのハワイアンリボン」は、講師都合により今回は寄稿ありません。

清水講師の「講座 No.3 : 世界文学紀行-名作の舞台を訪ねて-」は、講師の急な体調不良の為、残念ながら開講できなくなりました。

## 2023年10月開講講座への多数のご応募 ありがとうございました

応募者数：560人

当選者数：299人

応募倍率：1.9倍



講師説明会の様子 (2023.7.22)



抽選会の様子 (2023.7.22)

## ～ お知らせ ～

2023年日曜講座として「TAMA市民塾・宮本塾長連続講座」を開講しています

### テーマ：アジアの中の日本

第2回 6/25：「在外華人社会とシンガポール」

第3回 8/27：「格差社会とITのインド」



日曜講座の様子（2023.6.25）



日曜講座の様子（2023.8.27）

### 第4回 12/10（日）14:00～16:00 定員24名

### 「岐路に立つ台湾」 開催予定



連続講座4回目は、来年1月に総統選挙を控えた台湾に注目します。講座の内容は、台湾の成り立ち、現代の社会変化、高成長する経済の今後、国際社会の中の台湾など。自分たちは中国人なのか台湾人なのか、台湾の人々の葛藤が続いています（宮本）。

### 今後の開講スケジュール

- 2023年10月開講講座は2024年2月までの5ヵ月講座です。
- 2024年4月期講座（2024年4月～2024年9月）は休講です。
- 2024年10月から開講します。塾生募集は2024年6月からの予定です。